様式87の47

副腎腫瘍ラジオ波焼灼療法の施設基準に係る届出書添付書類

|  |
| --- |
| １　届出種別　　・新規届出　（実績期間　　　年　　　月～　　　年　　　月）　　・再度の届出（実績期間　　　年　　　月～　　　年　　　月） |
| ２　標榜診療科（施設基準に係る標榜科名を記入すること。）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 科 |
| ３　内分泌内科又は高血圧症について専門の知識及び３年以上の経験を有する常勤の医師の氏名等 |
| 常勤医師の氏名 | 勤務時間 | 診療科名 | 当該診療科の経験年数 |
|  | 時間 | 科 | 年 |
|  | 時間 | 科 | 年 |
| ４　泌尿器科について専門の知識及び５年以上の経験を有する常勤の医師の氏名等 |
| 常勤医師の氏名 | 勤務時間 | 当該診療科の経験年数 |
|  | 時間 | 年 |
|  | 時間 | 年 |
| ５　放射線科について専門の経験及び５年以上の経験を有する常勤の医師の氏名等 |
| 常勤医師の氏名 | 勤務時間 | 当該診療科の経験年数 |
|  | 時間 | 年 |
|  | 時間 | 年 |
| ６　副腎静脈サンプリングの年間実施症例数 例 |
| ７　副腎手術の年間実施症例数 例　　原発性アルドステロン症に対する副腎手術の年間実施症例数 例 |
| ８　緊急手術が可能な体制　　　　　　　　　　　　　　　（　有　・　無　） |

［記載上の注意］

１　「１」は特掲診療料施設基準通知第２の４の（３）に定めるところによるものであること。

２　「３」から「５」までの常勤医師の勤務時間について、就業規則等に定める週あたりの所定労働時間（休憩時間を除く労働時間）を記載すること。

３　「６」は、新規届出の場合には実績期間内に副腎静脈サンプリングが10例以上、再度の届出の場合には実績期間内に20例以上必要であること。また、当該手術症例一覧（実施年月日、手術名、患者の性別、年齢、主病名）を別添２の様式52により添付すること。

４　「７」は、新規届出の場合には実績期間内に副腎手術が５例以上又は原発性アルドステロン症に対する副腎手術が３例以上、再度の届出の場合には実績期間内に副腎手術が10例以上又は原発性アルドステロン症に対する副腎手術が５例以上必要であること。また、当該手術症例一覧（実施年月日、手術名、患者の性別、年齢、主病名）を別添２の様式52により添付すること。

５　当該届出は、病院である保険医療機関のみ可能であること。